

発達障害児者に教わる

渡島医師会
ゆうあい会診療所

おおば まさたか
大場 公孝

発達障害児者の医療を志し、大学卒業後、大学病院精神科に入局しました。当時、大学病院では、発達障害について教えてくれる人はおらず、研修日に横浜の小児療育相談センター元所長の佐々木正美先生の診察に陪席をさせていただき、夜間は神奈川県立こども医療センターの勉強会に参加、毎年、日本児童青年精神医学会に出席して勉強しました。

33歳の時に知的障害児者施設を運営する社会福祉法人侑愛会に勤務、アメリカノースカロライナ州で研修、TEACCHプログラム（自閉症の構造化支援）を教わってきました。診療所では、知的障害の方の健康診断、一般医療、自閉症などの行動障害、早期療育、知的障害児者のてんかん診療に関わってきました。最近では、知的障害の方の高齢化に伴い、認知症やてんかん発作を持つ方が増えております。

また、函館のゆうあい会石川診療所（高橋和俊先生が所長）では発達障害の早期診断早期療育やPT・OT・ST・臨床心理のスタッフと一緒に発達障害児者のリハビリテーションをしています。早期の療育が必要です。

長年勤めてきて発達障害・知的障害の方々から力をもらうことも多くありました。その方々のまっすぐな心、心からの笑顔は、どんなに疲れていても癒やされます。彼らは仕事をしても粘り強さがあります。

療育に関しては、専門的知識は必要ですが、個々の特性があり、それぞれの利用者から学ぶことが必要です。現在、社会福祉法人の理事長も務めていますが、法人理念として「利用する方々から学び、一人一人が必要としているサポートを考え実行する」を掲げ、発達障害児者から教わるように話しています。また、書物から学ぶことや研究論文を読む、発表する、実際の療育を見る、コンサルを受けることも大事で、研修を重視しています。

このような発達障害医療ですが、担い手が少ないことが問題で、私どもの施設や地域でも、後継者がおらず、困っています。楽しく、やりがいのある職場です。若い方、あるいはリタイアした方でも私どものお手伝いをしてくださる方を募集しています。よろしく願いいたします。

1枚目の写真は、私が勤める社会福祉法人侑愛会のホームページ (<https://www.yuai.jp>) からで、知的障害高齢者施設への診察風景です。「人が有

て愛がある」がキャッチフレーズです。

2枚目の写真は、私どもの法人が運営する「おしま菌床きのこセンター」です。菌床を作り、きのこの発生、摘み取り、パック詰め、出荷、菌床の廃棄の作業をしています。きのこの摘み取りやパック詰めにも構造化のアイデアが活かされ、一人一人にあった手順で仕事をしています。仕事をする方々からエネルギーをいただいております。



診察風景「人が有って愛がある」



おしま菌床きのこセンター写真